

# 堂谷津の里 自然だより

# 2023年 2月

2023. 2. 18

「立春」から「雨水」へ・・・寒暖の周期を繰り返しながら春へ向かっていく頃です。アカガエルの産卵が始まり、藪や木々の上で鳥たちのさえずりがにぎやかになりました。道端の雑草の中に小さな花を見つけ、思わず足が止まります。



**堂谷津の里散策**

**もうすぐ春ですね** ♪♪

## アカガエルの卵塊探し！

田んぼで春一番に動き出すアカガエル。里山を代表するカエルです。ほんの少し暖かな宵にアカガエルは生まれ育った水辺へ下りてきて産卵します。



卵塊



ニホンアカガエル

## 小さな春探し！

道端のかわいい花探し、春はそこまで・・・



ホトケノザ



ナズナ



ハコベ



アオイノナグサ



ヒメオドリコソウ



カラスノエンドウ

## モコモコかわいい冬鳥探し！



シロハラ



エナガ



セグロセキレイ



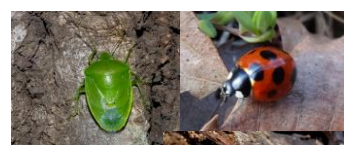
ルリビタキ

## 冬越しの虫探し！

虫たちは寒さに耐えながら様々な場所、様々な方法で春を待っています。



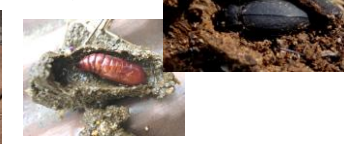
卵で…カマキリ・クモ



成虫で



幼虫で…カブトムシ・オオムラサキ



さなぎで…ガの仲間

### <季節メモ>

#### 「モコモコ」かわいい冬の鳥たち

氷点下にもなりそうな厳しい寒さのころ、草むらにおり立った鳥たちは一段とかわいらしく見えます。なぜって？心なしか体が丸くなったような感じ。太ったわけではなく、夏と比べて毛がモコモコになっているのです。鳥は夏毛から保温力に優れた冬毛に生え変わっているのです。体を覆う羽を逆立てて暖かい空気を保ち防寒対策をしているのです。ダウンジャケットは、真冬でも釣りをしたいエディ・パウアー(ファッションブランドの創始者)が水鳥の羽毛に着目して作ったことが始まりとのこと。生きものをまねした新発明「バイオミクリー」ですね。

写真・編集：晝間